教科書の観点一覧

**■「Vision Quest 論理・表現Ⅰ Advanced」の編集方針**

**VQらしさはそのままに，豊富な場面・状況の中で伝えることの喜びを体験できる教科書とする。**

「表現のための文法を活動に結び付ける」「段階を踏む」

**① 文脈の中で文法を体系的に学習できる。**

活動につながる文法の定着を目指し，さまざまな場面・状況で繰り返し文法を使用できるよう工夫を凝らした。

Logic & Expressionでは，豊富なモデル文をもとに体系的に文法を学び，言語活動の基礎作りと橋渡しを担う。

**② 豊富なモデル文を自分でカスタマイズして表現できる。**

豊富な場面・状況で話される「やり取り」のモデル文を参考に，自分自身の考えや気持ちを伝える方法を習得する。

Try it out のモデル文は，Example BankやFunctionで身に付けた文法や表現を実際の言語活動で行った場合の使用例となる。

下線部の語句を自分のことや考え，気持ちに置き換えてみることで，やり取りに慣れることができ，言語活動の踏み出しにつながる。

**③ 段階を踏んだ授業展開ができる。**

文法や言語活動を定着させるために，一つひとつ段階的にステップが踏めるように構成した。文法パターンもしくは活動パターンを組み合わせて，授業や生徒の学習目的に合わせた授業展開ができる。

**④ 理由や根拠を意識させる。**

活動の中で，常に「なぜそうなのか」「具体的にはどうなのか」を積極的に考え，伝えるよう問題を工夫した。理由や根拠を問う問題への対応力を高めることができる。

**⑤ 思考力・判断力を養う。**

英語をイメージとしてとらえるセクションを設置。Warm-up, Compareでは，イラストや写真を見て，状況を判断したり，違いを考えたりするセクションを設けた。

**■「Vision Quest 論理・表現Ⅰ」 の構成**

**Model Conversation** その課のトピックに関連した会話文から文法，機能を学ぶ。

**Listening Task** Model Conversationに関する正誤リスニング問題。T / F (True or false)

**Function** 言語の機能を表す表現を学ぶ。

**Example Bank** 文法表現のまとめ。発信活動の基礎を身に付ける。

**Compare** 二つの場面や状況で取り上げられた文法のニュアンスの違いを分析する。

**Try it out** Example Bankで学んだ文法を，言語活動を通して定着させる。

**Use it** その課で学んだ文法や表現を使って，論理的な英文を書く基礎力を養う。

**Expressing** 「聞く，話す（やり取り，発表），書く」の総合的かつ発展的な発信活動を行う。

**Useful Words & Phrases** 発信活動に使える単語・フレーズを掲載。Word Networkのコロケーションを利用して，発信できる語彙を増やす。

**Additional Activity** その課のトピックの理解を通じて，語彙を運用する力やコミュニケーション能力を養う。

**ASSISTANT** 言語活動を行う上で，重要な知識や「論理・表現Ⅱ」につながる発展的な内容を扱う。

**Appendix** さまざまな英語の基本ルールについて詳しく解説。